

部局名	総務企画部	所属名	総合企画課	所属長名	白田 弘	電 話	483-1151 内線2330
-----	-------	-----	-------	------	------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	4040		事務事業名称	市民活動サポートセンター運営管理事業					短縮コード	経常	4040	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	07	企画費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		八千代市市民活動サポートセンターの設置及び管理に関する条例							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
まちづくりにおける市民活動の役割に対する認識の高まりにあわせ，市民活動団体支援のための環境整備の必要性が指摘されるようになったため，平成12年度に実態調査を実施，平成13年度（仮称）市民活動サポートセンター設置検討委員会，平成14年度（仮称）市民活動サポートセンター設置準備委員会を設置し，支援体制について協議・検討し，それらの提言等をもとに，平成14年12月市民活動サポートセンターを開設した。市民活動の活性化を図るため，交流の場の提供，事務的な活動の場の提供，情報収集と情報発信の場の提供及び市民活動に関する相談業務なども行い，様々な分野の市民活動の支援を実施している。平成18年度に市民活動サポートセンターをゆりのき台5丁目に移設した。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	06	計画推進のために						
市民活動の重要性がますます認識され，NPO法の整備や県における支援体制の強化が図られるようになったため，市民も市民活動に関心を持つようになってきている。市民活動が活性化していくことにより，今後は，市民活動団体と行政との協働による事業の展開が盛んになっていくと考えられる。					大項目（節）	01	パートナーシップによる市政運営と市民自治の推進						
					中 項 目	01	パートナーシップによるまちづくりの推進						
					小項目（施策）	02	市民参加体制の充実						
					細 項 目	02	多様な実施主体との協働						
実施計画の計画事業													
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		平成14年4月 ～ 平成15年3月		計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	市民活動団体 成人市民								
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成20年度に実際に行ったこと： 市民活動サポートセンター祭りの開催，市民活動団体調査の実施，サポートセンターホームページの運営，サポートセンターだよりの発行，広報力アップ講座他3講座の開催，NPOフォーラムの開催，市民活動サポートセンターの管理								
	※平成21年度に計画していること： 市民活動サポートセンター祭りの開催，市民活動団体調査の実施，サポートセンターホームページの運営，サポートセンターだよりの発行，マネジメント講座の開催，NPOフォーラムの開催，団体交流会の開催，市民活動サポートセンターの管理								
意図 （何を狙っているのか）	市民活動団体相互の交流が図られる。市民活動の周知が図られる。市民活動に関する情報や知識を得ることができる。市民活動のための場が提供される。								
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外								
区 分				単位	19年度	20年度		21年度	
					実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標1	市民活動団体	団体	118	135	119	135		
	指標2	成人市民数	人	151,463	150,867	153,708	152,222		
	指標3								
活動指標	指標1	講座，フォーラム開催回数	回	4	3	5	3		
	指標2	団体交流会開催回数	回	1	1	1	1		
	指標3	サポートセンター利用者数	人	6,556	7,200	6,062	7,000		
成果指標	指標1	講座，フォーラム参加人数	人	128	140	228	140		
	指標2	団体交流会参加人数	人	3,900	4,500	2,900	4,000		
	指標3	フレキシブルスペース等利用人数	人	3,788	4,200	3,984	4,300		
上位成果指標	指標1								
	指標2								
	指標3								

コード	4040	事務事業名称	市民活動サポートセンター運営管理事業				所属名	総合企画課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続 ☐ 手法プロセスの改革・改善☐ 事業規模の拡大・縮小☐ 統合・役割見直し☐ その他 ☐ 廃止(事業完了含む) ☐ 休止 ☒ 現状のまま継続			利用者ニーズの把握のためにも、効率的な施設運営・管理のためにも市民活動サポートセンターの利用者である市民活動団体との協働の推進は肝要となる。今後とも望ましい協力体制のあり方について、相互理解を図るための協議・検討の上、協働で事務事業を遂行していきたい。			
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。	成果		経 費			市民活動団体との協働により、成果の向上を達成していくことは可能であるが、経費については、主体を占めているのが人件費や機器賃借料であるため大幅な削減は難しく現状維持となる。	
				削 減	不 変	増 加		
				向 上	☐	☒		
不 変	☐	☐	☐					
低 下	☐	☐	☐					

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など
運営委員会から、日曜日の夜（17時～21時）を開所してほしいという意見が出ている。

所属長コメント	平成21年度から市民活動団体支援金交付制度の実施に伴い、市民活動がより盛んになっていくと思われることから、サポートセンター事業の充実を図っていきたい。	
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続 ☐ 手法プロセスの改革・改善☐ 事業規模の拡大・縮小☐ 統合・役割見直し☐ その他 ☐ 廃止(事業完了含む) ☐ 休止 ☒ 現状のまま継続	担当課の評価のとおり現状のまま継続とする。